



いきいき住宅リフォームアドバイザー・マイスター講習を開催！

～ 116名が受講～

昨年度、愛知県からの委託業務として開催した「いきいき住宅リフォームアドバイザー・マイスター講習」を、今年度も開催しました。この講習は、それぞれの専門分野の方が、住宅リフォームに関する知識と技術を共有するとともに、ネットワークを広げる「場」として企画しています。講習には、アドバイザー92名、マイスター24名、計116名が受講されました。今年度は、保健・医療、福祉・介護の分野の方が多く参加されました。これらの分野の方も住宅リフォームに強い関心をおもちであるということを再認識しました。

講習名一覧 (計14講座)

日	日程	会場	講義のテーマ
1	2月12日(日) または 2月18日(土)	椋山女学園大学	いきいき住宅リフォームの意義と役割
			加齢による身体・精神機能及び各障害の特性
			日本家屋の特徴と加齢・障害によるリフォーム需要
2	2月19日(日) または 2月25日(土)	椋山女学園大学	事例を通して住宅リフォームを考える (リフォーム提案ワークショップ)
3	2月26日(日) または 3月4日(土)	名古屋工業大学	施工現場での注意点と見積りの目安
		星城大学リハビリテーション学院	場面別施工のポイントと技術
4	3月12日(日) または 3月18日(土)	星城大学リハビリテーション学院	リフォームの全体的な流れと場所別計画のポイント
			本人の行動・行為と介護者からみたリフォームのポイント
			福祉用具と住宅リフォーム
			居住性とデザイン
5	3月19日(日) または 3月25日(土)	椋山女学園大学	住環境整備を支援する地域ネットワーク
			介護保険の仕組みと住宅リフォームに対する支援制度
			専門家が連携するリフォームの推進体制づくりに向けて
			地域別懇談会

尾張東部・東三河で地域別懇談会を開催！

開催日時及び会場

尾張東部

とき 平成18年1月24日(火)18時半～20時半
ところ 春日井市鷹来公民館 第1集会室
出席者 登録会員 4名、事務局 2名

東三河

とき 平成18年1月27日(金)18時半～20時半
ところ 豊橋市民文化会館 第3会議室
出席者 登録会員 7名、事務局 2名

9月に開催した地域別懇談会の中で、再度開催して欲しいという要望が強かった2つ地区で開催しました。今回の懇談会では、地域チームについて本法人で現在検討している内容についての説明と、チームづくりについての意見交換を行いました。参加者の方からは、前回の懇談会でも出された本法人の認知度をもっと上げること、保健・医療、福祉・介護の職種の人たちとの連携をはかることといった意見のほかに、実際にチームをつくってはじめてみようといった意見も出されました。

準備チーム代表者会議の開催！ ～ 20チームが参加～

開催日時及び会場、議題

とき 平成18年2月23日(休)19時～21時
ところ あいちNPO交流プラザ 0会議室
出席者 チーム代表者20人、事務局4人



本法人では、準備チームの皆さんが、地域でリフォームに携わりやすくするため、準備チームに対する応援体制、特にチームの認定についての説明と意見交換するために準備チーム代表者会議を開催しました。(チーム認定の詳細については5ページ参照)

出席者の皆さんからのご意見として以下のことがだされました。これに対してNPOが回答しました。

- ・NPOの活動についてもっと明確に説明して欲しい。

本法人は、地域支援事業 研修事業 調査研究、政策提言事業 相談助言事業 普及啓発・情報提供事業の5つの業務を行っています。

- ・NPOの名前をもっと広めて欲しい。
- ・エンドユーザーに働きかけたほうがよいと思う。方法としては、ユーザー対象の講習会をやってはどうか。PRの方法としては、市の広報や新聞の記事を書いてもらう。
- ・名簿をいろんなところに配付してくれたが、配るだけでは意味がないと思う。

リーフレット・会報・登録会員名簿等を市町村や社会福祉協議会、居宅介護支援事業所等に配付しています。今後も会報やリーフレット等を配布して広めていきたいと考えています。また、実際に病院や施設から仕事を獲得している方が多いため、ユーザーに直接働きかけるより、病院や施設に働きかけたほうが効果的と考え、施設等に働きかけています。ユーザーへの働きかけの方法については、今後検討していきますが、NPOの活動と会員の活動は車の両輪ですので、チームの方にも営業にいて欲しいと思います。

- ・福祉・介護の職種が必要なのはわかるが、保健・医療の職種が必要ないのではないか。

理学療法士や作業療法士の方がいることでリフォームの向上につながり、協力することによってよりよいリフォームができるし、またいつでも相談できる相手がいることは大切であると考えているため、保健・医療の職種もリフォームに必要であると考えています。

現在、登録チーム1チーム・準備チーム26チームとなりました。参加したチームのほとんどは、まだチームでリフォームを行ってはいないとのことでしたが、今後の活動が期待されます。またチームやチームでないものの情報交流グループとして、定期的集まりを持っているグループもありました。今後もチームの代表者の会議を継続して開催していこうということになりました。(各チームの紹介は9ページ参照)